



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月10日

上場会社名 株式会社 岡本工作機械製作所

上場取引所 東

コード番号 6125 URL <https://www.okamoto.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石井 常路

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 高橋 正弥

TEL 027-385-5800

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	29,375	2.4	736	50.5	670	44.9	320	55.6
2025年3月期第3四半期	30,094	14.2	1,489	59.2	1,215	66.7	721	71.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,743百万円 (6.8%) 2025年3月期第3四半期 1,632百万円 (50.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	48.50	
2025年3月期第3四半期	118.82	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	64,146	41,247	64.3
2025年3月期	66,804	40,563	60.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 41,247百万円 2025年3月期 40,563百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		80.00		80.00	160.00
2026年3月期		80.00			
2026年3月期(予想)				80.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,500	0.5	1,900	37.0	1,800	38.3	1,200	40.7	181.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	6,703,795 株	2025年3月期	6,703,795 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	93,270 株	2025年3月期	92,765 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	6,610,791 株	2025年3月期3Q	6,072,565 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	10
受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ紛争情勢の長期化に伴う地政学的リスクの継続に加え、米国の通商政策がもたらす影響に対する懸念から、依然として先行きが見通しにくい状況が続きました。

わが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業の設備投資の回復を受けて緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、物価上昇の長期化や米国通商政策の影響等により、今後の景気動向には不確実性が残る状況です。

このような中で当社グループは、今期が2年目にあたる中期経営計画「“INOFINITY 700” Innovation × Infinity」に掲げた「世界に類のない『総合砥粒加工機メーカー』として、平面研削盤・半導体ウェーハ研磨装置でグローバルNo. 1を目指す」ことを長期ビジョンとして、2030年3月期の売上高700億円の目標達成に向けた取り組みを進めております。その一環として、顧客への提案力向上と販売体制の強化を目的に、最新の半導体関連装置を対象とするショールーム兼デモテストルームを備えた東京テクニカルセンターを2025年12月に開設いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は29,375百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益は736百万円(前年同期比50.5%減)、経常利益は670百万円(前年同期比44.9%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は320百万円(前年同期比55.6%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

①工作機械事業

国内市場におきましては、中小企業の設備投資を支援する各種補助金の後押しを受け、小型および中型の平面研削盤の更新需要やロボット向け精密歯車の需要があり受注は前年同期を上回りました。売上は前年同期に好調であった大型平面研削盤の販売が減少したため、その水準に届きませんでした。

海外市場におきましては、米国では、政府政策の優遇税制による設備投資需要に支えられ受注・売上ともに前年同期を上回りました。欧州では、自動車産業向けに円筒研削盤の受注が複数台あり、前年同期でほぼ横ばいでしたが、売上については前期の受注低迷により減少しております。中国では、産業機械、金型、半導体装置向けを中心に大型平面研削盤の受注が続き、前年同期を大きく上回りました。一方で売上は前期の受注低迷により減少しております。

以上の結果、売上高は19,884百万円(前年同期比6.7%減)、セグメント損失(営業損失)は350百万円(前年同期はセグメント利益323百万円)となりました。

②半導体関連装置

半導体市場におきましては、通信技術の発達やIoT、生成AI関連分野、自動運転の本格化等を背景として市場の成長が見込まれております。市況としては、シリコンウェーハの在庫調整正常化に向けて少しずつ変化があり、また、次世代パワー半導体、次世代高周波通信デバイス向けの半導体ウェーハなどで一部需要が出てきております。

このような状況の中で当社グループは、半導体事業の収益力維持、向上を目指して、ウェーハ業界向けのポリッシャーやグラインダの次世代新機種開発などの諸施策を進めてまいりました。その結果、受注につきましては、国内や東アジア向けにファイナルポリッシャーの受注を獲得し前年同期を上回ることができました。売上につきましても、国内や東アジア向けにウェーハ生産用ファイナルポリッシャーやグラインダを販売し、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は9,491百万円(前年同期比8.0%増)、セグメント利益(営業利益)は2,086百万円(前年同期比2.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して2,658百万円減少し、64,146百万円となりました。主な要因は、棚卸資産が1,435百万円、有形固定資産が2,129百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が1,168百万円、有価証券が5,300百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比較して3,342百万円減少し、22,899百万円となりました。主な要因は、短期借入金が2,362百万円、契約負債が799百万円減少したことによるものであります。

また、純資産は、前連結会計年度末と比較して683百万円増加し、41,247百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上320百万円、配当金の支払い1,057百万円により737百万円減少したこと、及び為替換算調整勘定が1,415百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の60.7%から64.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、2025年5月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,899	9,983
受取手形、売掛金及び契約資産	11,156	9,988
有価証券	6,500	1,200
商品及び製品	5,049	7,436
仕掛品	9,647	8,347
原材料及び貯蔵品	3,922	4,272
その他	1,176	1,241
貸倒引当金	△138	△150
流動資産合計	47,214	42,317
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,922	6,333
機械装置及び運搬具（純額）	4,616	4,616
その他（純額）	6,389	8,108
有形固定資産合計	16,929	19,058
無形固定資産	421	385
投資その他の資産		
投資有価証券	404	440
退職給付に係る資産	1,273	1,273
その他	583	691
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	2,239	2,383
固定資産合計	19,589	21,828
資産合計	66,804	64,146
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,460	2,515
電子記録債務	1,687	2,006
短期借入金	5,926	3,564
1年内返済予定の長期借入金	976	977
未払法人税等	296	123
契約負債	5,739	4,939
賞与引当金	499	229
製品保証引当金	27	41
その他	2,259	2,639
流動負債合計	19,874	17,037
固定負債		
長期借入金	4,115	3,436
退職給付に係る負債	1,196	1,307
資産除去債務	119	123
その他	935	993
固定負債合計	6,366	5,861
負債合計	26,241	22,899

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,783	9,783
資本剰余金	5,042	5,042
利益剰余金	23,256	22,519
自己株式	△396	△398
株主資本合計	37,685	36,946
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70	104
為替換算調整勘定	2,540	3,955
退職給付に係る調整累計額	266	240
その他の包括利益累計額合計	2,877	4,300
純資産合計	40,563	41,247
負債純資産合計	66,804	64,146

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	30,094	29,375
売上原価	21,361	21,277
売上総利益	8,732	8,098
販売費及び一般管理費	7,243	7,362
営業利益	1,489	736
営業外収益		
受取利息	68	57
受取配当金	13	19
助成金収入	19	29
物品売却益	69	47
その他	73	57
営業外収益合計	243	211
営業外費用		
支払利息	104	101
支払手数料	162	9
為替差損	184	91
株式交付費	43	—
その他	24	75
営業外費用合計	518	277
経常利益	1,215	670
特別利益		
固定資産売却益	6	8
特別利益合計	6	8
特別損失		
固定資産処分損	9	8
投資有価証券評価損	—	16
特別損失合計	9	24
税金等調整前四半期純利益	1,211	653
法人税等	490	333
四半期純利益	721	320
親会社株主に帰属する四半期純利益	721	320

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	721	320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	34
為替換算調整勘定	917	1,415
退職給付に係る調整額	△28	△26
その他の包括利益合計	910	1,423
四半期包括利益	1,632	1,743
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,632	1,743

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,539百万円	1,571百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,304	8,789	30,094	—	30,094
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	21,304	8,789	30,094	—	30,094
セグメント利益	323	2,140	2,464	△974	1,489

(注) 1. セグメント利益の調整額△974百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	工作機械	半導体 関連装置	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,884	9,491	29,375	—	29,375
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,884	9,491	29,375	—	29,375
セグメント利益又は損失(△)	△350	2,086	1,736	△999	736

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△999百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

(1) 受注状況

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
工作機械	22,612	112.9	12,366	97.0
半導体関連装置	7,578	110.0	18,273	78.8
合計	30,191	112.2	30,640	85.3

(2) 販売実績

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
工作機械	19,884	93.3
半導体関連装置	9,491	108.0
合計	29,375	97.6